

自主保全活性化の取り組み

トヨタ自動車株式会社
グローバル生産推進センター
保全マネジメント・支援室 主査

礒部 明仁 氏



保全マネジメント・支援室紹介

この度は、2020年度の団体表彰の荣誉に預かり深く感謝を致しておりますところでございます。ありがとうございました。

僭越ではありますが、弊社における取り組みを紹介させていただきます。

初めに、私が所属するグローバル生産推進センターは、ものづくりの総本山として、一人で診断・改善できる高技能者を育成することを役割としております。

その中で当室は、各工場の設備保全をサポートする機能として、保全技能、保全費、保全工数の総合的な管理、各工場横串の保全ジョブ軸活動および仕入れ先様保全支援を推進しており、保全員育成や技術員育成サポートを行っております。

トヨタの自主保全活動

弊社の中で自主保全という言葉で活動が始まったのは2000年頃です。

他社をベンチマークさせて頂くと、弊社は設備故障件数、加工不良などで劣っていることが分かりました。

故障を早く直すのは得意としておりますが、故障を発生させない自主保全活動が弱い状態でした。

そこで、モデルラインを選定しコンサルタントのご指導を受けながら、加工点の見える化、自主保全のステップ展開等を通じ、設備に強い人づくり、故障ゼロ活動を進めました。

そういった活動に併せ、2004年より自主保全士の資格取得にチャレンジし、自主保全活動の意識や知識を高めてきました。

このモデルライン活動は発展的に解消し、「3本柱活動」や「保全ジョブ軸活動」といった中で拡大、継続実施しています。

「3本柱活動」とは、製造職場の職場運営の要件を整理し改善を進めていくものですが、設備面「自主保全」、製品面「加工点マネジメント」、作業面「標準作業の徹底と改訂」の3つの柱から成ります。

自主保全士検定試験に合格した人の合格証書をこの活動板に掲示し、活動のモチベーションアップに活用しております。

自主保全士取り組み

全社的な自主保全検定試験のサポートとしては以下の活動を推進しております。

受験希望者が確実に受験できるよう申し込み方法を書面からイントラネットに改善し、受験に必要な情報を入力できる社内環境を整えました。

そのデータが一元化されますので、我々がまとめてチェックし受験申請を行っています。

もう一つは受験手数料補助による受験意欲拡大支援を実施しております。

個人負担の振込手数料を解消するため、給与から受験手数料を天引きし、我々から一括して事務局へ振り込みます。

その後合格した人に対し全額を給与へ振り込み補助を行っています。

これがモチベーションアップの一つの側面かと思います。

なお、勉強会については過去に部門毎に独自の勉強会を開いていた時期もありましたが、合格者も増加してきたことから近年はこじんまりと各部署毎に実施しています。

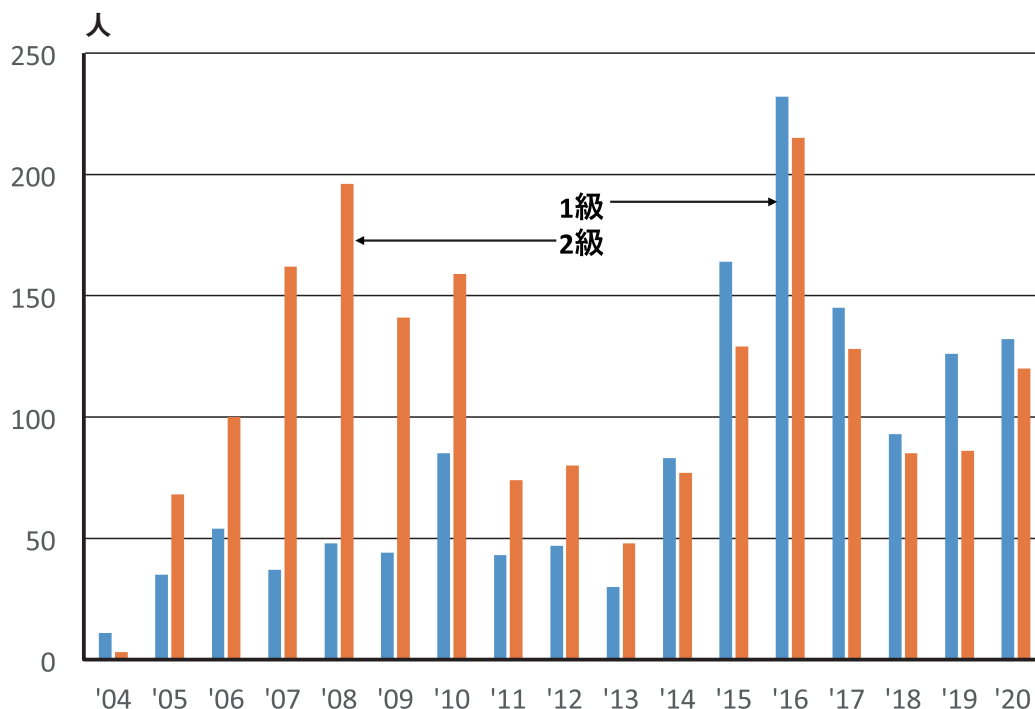
主に市販テキストや過去問題を中心に勉強しているというのが実情ですが、合格した先輩から「過去問題を完璧になるまでやりつくす」と言った学習法を伝授され勉強している人もいます。

また、先輩たちから自主保全活動方法についても指導があり、人材育成の場ともなっております。

受験状況につきましては、社内の合格者数の推移グラフを参照下さい。毎年合格率はあまり大きくは変わらないのですが、受験者数の変動により合格者数も変動しております。

先ほどご説明した3本柱活動など自主保全活動機運の高まりのタイミングによって、受験者数が増加しております。

社内合格者数の推移



活動事例

自主保全活動の取り組み事例につきまして2事例ご紹介させていただきます。

活動事例 ①

まず研究・開発部門です。製造現場でない研究開発部門で自主保全活動？と疑問を抱く方もいらっしゃると思いますが、例えば走行耐久試験を行うような評価設備で故障が発生しますと期間ロスなどに繋がります。そこで実験を担当するオペレータによる未然防止活動や設備の勉強会を実施し故障を防止しています。併せて各作業組毎に自主保全士の資格を最低1名は取ろうという活動も実施し、成果につながっております。

活動事例 ②

次は機械加工職場である元町工場機械部です。今回の試験で2名成績優秀者として表彰頂きました。

古い設備を使い切ることを狙って地道な自主保全活動を継続している部署でございます。

部内で標準化された「自主保全ボード」を使い点検すべき内容、頻度、結果を見える化しております。

また、受験者への参考資料提供のサポートや合格者名の職場内掲示などでモチベーションアップを行い、合格者は自主保全活動のリーダーとして期待されております。



自主保全ボード



自主保全活動風景